



住まいのおしゃべり広場



末政建設株式会社

2025年3月発行 第88号

もくじ

P.1 創業80周年！

P.2 住んでみて、どうですか？

P.3 住宅省エネ2025
キャンペーン

P.4 パナソニック
リビングフェア2025

新一年生の皆さま、おめでとうございます！

すっかりと雪が解けて、春の香りとともにさまざまな花や木が芽吹いてきましたね。そして今年も新入生や新社会人など、いろいろな新一年生が初々しく躍動し始めます。もうずいぶんと長い間、新人という立場から遠ざかっている私としては、若い世代が新しい世界へ飛び込んでいく姿は羨ましいような気さえします。私も2025年春の好スタートが切れるように、初心を忘れることなく、何事にも新鮮な気持ちで取り組んで参りたいと思います。（社長）



末政建設(株)は、おかげさまで

創業80周年を迎えました！



2025年3月現在の社屋

2025年の1月、弊社は創業80周年を迎えました。1945年（昭和20年）に私の祖父が製材業を起業したのが始まりと聞いております。「末政製材所」の始まりです。祖父は早くに亡くなり当時まだ若かった父が後を受け継ぎ、知人らの助けを借りながら製材業を営んできたそうです。この辺りの製材業というのは近く山の持ち主から依頼または購入した木を伐採・搬出・製材をして家を建てる人（大工さんやお施主さま）に売買していたそうです。その頃は今とは違いトラックなどの機械が乏しく朝早くから弁当を持って山に入り手作業で木を伐採し険しい山

道を、丸太の重さで嫌がる馬の手綱を引いて搬出しては製材するといった大変な作業を行っていました。おかげさまで古くから力強い番頭さんや従業員に恵まれ、時には外国人労働者の方の力も借りて厳しい時代を乗り切ってきたようです。この話は私が入社して会社で酌み交わすお酒の場でよく聞かされました。その後、徐々に機械化が進み、帯鋸（おびのこ）という機械で海外（主に北米）から船で輸入した巨大な丸太を製材して販売するようになっていきました。

そして1970年（昭和45年）頃から製材業と同時に住宅や公共施設の建物などを手掛け、製材担当の従業員と大工さん数名とで営むようになり、この頃に社名を「末政建設株式会社」へ改名しました。私が弊社に入社したのはさらに後の1987年（昭和62年）頃で、主に設計・営業・現場管理を担当として加わりました。おかげさまで近隣の地区の、特に年配の皆様には「製材さん」と親しまれ商いを続けてくることができました。

現在では、海外から製材された木材が入ってくるようになったため製材業は行っておりませんが、時代のニーズに合わせて注文住宅・リフォーム・高気密高断熱住宅『チャコの家』を主とした業務を弟や子どもたちも加わって、次世代へと繋ぎながら会社を運営しております。これからも地域に根差した住まいづくりに励んで参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。（社長）



1960年頃の製材所



2000年頃の製材所